２０２６年度 一般社団法人野洲青年会議所

事務局事業計画書

事務局長　　寺田　智愛　　担当　専務理事　　奥野　喬裕
事務局次長　吉川　卓実
事務局員　　事務局予算 ￥６００，０００－

①2026 年度事業方針

より良いまちづくりのために、今年度は理事長所信に掲げられた「全員拡大」に一枚岩となって取り組みます。確かな成果を創り出すには、会員が活動しやすい環境を構築することで組織の魅力を向上させる必要があります。各々の価値観がある中で、お互いの意見を尊重し合い、時代に沿った組織運営を進めることは、挑戦しやすい環境を創出し、会員それぞれの力が発揮されることにつながり、より良い運動をもたらします。事務局の意義は、組織の活動を支える基盤としての役割があり、会員の増加と定着を実現して、地域社会への貢献力を高めることにあります。多様な視点や新しい発想を野洲青年会議所の運動に取り込み、地域に継続的に貢献できる揺るぎない礎を創り出します。

まずは運営体制の見直しを図ります。必要な情報を適切に共有したうえで、目的や方向性を互いに理解し、多様な個性が自然に発揮できる環境を整えることで、一体感のある組織づくりを進めてまいります。本質を捉えた効率的で柔軟な運営は、組織の活性化につながり、持続可能な運動の推進へと発展していきます。次に、新入会員の定着支援に注力します。自分の価値を自覚し、安心して活動に参加できる雰囲気をつくり、さらに、小さな成功体験を積んでいただくことで、やがては青年会議所の魅力を自ら発信できる存在へと成長できるよう後押ししてまいります。

全員拡大について、事務局は単に後方支援に徹するのではなく、まちの未来を創る変革者として会員一人ひとりの価値観を尊重します。そして、組織としての挑戦と成長を繰り返しながら、まちを席巻する存在へと進化し続ける野洲青年会議所を目指してまいります。

②2026 年度事業計画

2 月研修例会、3 月公式訪問例会、4 月研修例会、7 月交流例会
8 月総会例会、9 月ブロック移動例会、10 月研修例会、11 月総会例会、12 月望年例会

③月別委員会活動計画

月	例会	対内事業	対外事業	委員会活動
1				2 月例会審議　3 月例会協議
2	○	○		3 月例会審議　4 月例会協議
3	○	○	○	4 月例会審議　2 月例会決算報告
4	○	○		3 月例会決算報告
5				7 月例会協議　4 月例会決算報告
6				7 月例会審議　8 月例会協議
7	○	○		8 月例会審議　9 月例会協議
8	○	○		9 月例会審議　10 月例会協議 7 月例会決算報告
9	○	○		10 月例会審議　11 月例会協議 8 月例会決算報告
10	○	○		11 月例会審議　12 月例会協議 9 月例会決算報告
11	○	○		12 月例会審議　10 月例会決算報告
12	○	○	○	11 月例会決算報告

④主たる活動（事業）の見込み予算

No.	活動（事業）項目	見込み予算	概　　要
1	2 月例会	￥ 20,000－	対象　対内
2	3 月例会	￥ 50,000－	対象　対内・対外
3	4 月例会	￥ 30,000－	対象　対内
4	7 月例会	￥130,000－	対象　対内
5	8 月例会	￥ 30,000－	対象　対内
6	9 月例会	￥ 30,000－	対象　対内
7	10 月例会	￥ 30,000－	対象　対内
8	11 月例会	￥ 30,000－	対象　対内
9	12 月例会	￥250,000－	対象　対内・対外
	合　計	￥600,000－	

⑤その他
・例会、総会の設営
・各委員会との連絡調整と連携
・魅力を学ぶ機会の創出
・新入会員の教育訓練（FT）に関すること
・野洲青年会議所以外の青年会議所情報の発信、事業等への参加要請
・SNS、ホームページを利用した情報発信の運用計画、更新管理
・執行部会、理事会、総会開催及び運営に関すること
・日本、地区、ブロックに関する連絡調整及び各種対外事業の参加要請
・会計経理事務等、財務に関すること
・会員必携の作成及び会員名簿の完備に関すること
・事務局の管理及び掌握に関すること
・会費の徴収に関すること
・慶弔に関すること
・会員の入会、休会、除名に関すること
・委員会配属に関すること
・表彰、褒賞に関すること
・コンプライアンスに関すること
・理事会議事録の管理、保管、作成
・各種事業の記録、管理、保管
・会員相互の交流及びシニアクラブ、会員家族との交流に関すること

【 前回までの流れ(意見と対応) 】

第２回 執行部会　2025 年９月 25 日　協議

意見 1：この使命を達成するためには、の部分はどの文章が使命としてとらえているのか教えてください。
対応 1：会員の増加＝将来的なまちへの貢献という理事長の所信があるので、会員の増加と定着を使命として捉えています。
意見 2：透明性とはどんなイメージですか？全員が議論に参加＝理事会資料を全員が見られるようにする？どのような環境構築か教えてください
対応 2：理事会へのオブザーブもふくめ、執行部・理事会以外のメンバーにも事業の構築について学んだり、参加できるよう情報の共有をはかりたいという意図で記載したが、意図が伝わらない文章になっているので再構築します。
意見 3：事務局は、組織を内側から支える中枢として、全員拡大という共通目標に向かうメンバーの活動を全面的にサポートし、確固たる土台を築くことに尽力します。の部分、１段落目にあるのがなんか違和感（意見です）
対応３：事務的な作業についての記載を再検討します。
意見４：現在の組織運営では意思決定と実行力に不足が出ている認識で OK ですか？
対応４：このままでは今後不足していくと予想されると考えています。
意見 5：新入会員のまちづくり事業への参画をイメージできている、構築しているという認識ですか。
対応５：新規会員が魅力の発信者となるための手伝いをするイメージです。
意見６：新規会員のフォローアップを主とした文面に書き換えてください。
対応６：承知しました。
意見７：事務局方針であれば、事務局長が上程者でならなければいけません。
対応７：事務局長による上程に変更しました。

第２回 理事会　　2025 年 10 月８日　協議

意見１：全体的に接続詞を意識しながら精査してみてください。

対応１：全体的に文章を見直して修正しました。
意見 ２：年間のスケジュールを見ますと壮絶な一年間になりそうです。具体的なプランニングは完了していますか。
対応２：具体的とまではいきませんが、おおよその計画は立てました。2・4・10 月はメンバー向けの研修例会、7 月は交流例会、8 月は望年例会を事務局が音頭をとって、計画していきます。
意見 ３：新しい組織運営が会員拡大につながるイメージですか。迎え入れる準備が整うイメージかどちらでしょうか。
対応３：両方ともです。
意見 ４：時代に合った組織運営は何をすれば成し遂げられますか。その組織運営が個々の力の発揮につながる過程を教えてください。
対応４：一段落目の前後の文章を追記修正いたしました。
意見５：内側から築き上げるという文章は、違和感があるため精査してください。
対応５：組織の活動を支える基盤としての役割に修正いたしました。
意見６：事務局の意義、会員拡大委員会との差別化ができていますか。
対応 ６：事務局は対内へのアプローチを主に、拡大委員会は外へのアプローチが主であると認識しています。
意見７：これまでは「迷ってた」活動というのは、情報不足が原因でしょうか。
対応 ７：正確な情報も検討材料としては必要です。しかし、同時にネガティブな表現でもあるため、文章を修正いたしました。
意見８：多様な個性を発揮できる基盤を整えるとは、どんなイメージですか。
対応８：一人ひとりの強みや考え方の違いを尊重し、自分らしく JC 活動をしてもらえる基盤を整えます。
意見９：効率的な組織運営から持続可能な運動までつなげるには無理があります。
対応９：文章を修正いたしました。
意見 10：どんな成功体験を積んでもらうイメージですか。
対応 10：自分の関わりが誰かの役に立った、少しでも組織の力になれたと実感してもらうイメージです。
意見 11：運営体制で１番最初に見直したいと考えていることは何ですか。
対応 11：必要な情報を適切に共有されるように仕組み作りをして、ＪＣの運動に集中いていただけるようにしたいです。
意見 12：2 段落目　会員拡大の進捗を示すのは事務局がするのですか
対応 12：事務局としてはしないため削除しました。
意見 13：職務について、ＳＮＳやシニアや家族との交流は、どうしますか。
対応 13：ＳＮＳは運営管理を事務局としてはします。交流は調整と担当例会のなかで、今後検討させていただきます。
意見 14：時代に沿った組織運営、これはどう考えていますか。
対応 14：変えてはいけないものは守り、変えた方がいいものはよりよく変化させていきたいと考えています。例えば、デジタル化、シムテム導入を検討しています。
意見 15：必要な情報、どんな情報が意欲や参加率向上につながりますか。
対応 15：記載のある必要な情報とは、スケジュールや最低限の情報を想定しています。そして、参加向上につなげるための、目的の意味理解や自分の関わりが見出せるような環境づくりをしていきたいと考えています。
意見 16：チャレンジを繰り返すのは誰ですか。文章を精査してください。
対応 16：組織です。文章を修正しました。
意見 17：後方支援に徹するのではなくについて説明してください。
対応 17：事務局も拡大にひとつでも関われるようにしていきたいという想いを強調するための表現です。
意見 18：2026 年の事務局のテーマを教えてください。裏方なのか先陣きるのか、チャレンジするのか支えるほうなのか整理してください。文章の締めくくり方も再考してもらったほうがいいかなと思います。
対応 18：テーマはそれぞれの価値を自覚していただき、魅力ある組織にしていくことです。文章の締めくくりは変更しました。
意見 19：新入会員さんと作る例会は何月を予定していますか。また、それに応じて、予算の振り分けも検討してください。
対応 19：4・7・10 月を予定しています。検討し修正しました。
意見 20：１２月例会、卒業生をどうするかも今から考えておいてください。
対応 20：イメージをして、予算組みしました。

第 3 回 執行部会　2025 年 10 月 21 日　審議
意見１：構成上、二段落目の「そのために」は適切でしょうか。
対応１：削除いたしました。

意見２：意見対応の誤字脱字および半角統一を修正してください。
対応２：確認して、修正いたしました。
意見３：例会については事業方針のどの辺に記載されていますか。
対応３：２段落目の５行目に記載しています。
意見４：最終段落の主語が乱雑なので再考してください。
対応４：修正いたしました。
意見５：３月は対外にも〇が必要で、手土産とか考えると予算を５万位に増額した方が良いと思います。
対応５：修正いたしました。
意見６：11 月の５万はなにをするのか、７月の 13 万は何をするのか、具体的なイメージのある金額設定なのでしょうか。
対応６：予算計画を修正いたしました。

第３回 理事会　　2025 年 11 月 11 日　審議
意見１：
対応１：
意見２：
対応２：